

報道関係者各位

EVENT REPORT

【VTuber Fes Japan 2022・イベントレポート】
花譜×星街すいせい、ゴールドシップ(ウマ娘)と
垣根を超えたV歌姫コラボ続々！
～VTuber総勢67名とファンがつくる攻めのVTuber Fes～

株式会社ドワンゴ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：夏野剛）は、4月29日（金・祝）、30日（土）の2日間、VTuberの祭典『VTuber Fes Japan 2022』を幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区）にて開催しました。

本レポートでは、同イベントの様相を写真とともにお届けします。

■VTuber Fesのスタートはブチ上げの『ルカルカ★ナイトフィーバー2015』！



様々なフィールドでシーンをけん引するトップVTuberたちが垣根を越えて一堂に会する、「VTuber Fes Japan 2022」。第3回目となるVTuber Fesのオープニングを飾ったのは、因幡はねる、宗谷いちか、周防パトラ、堰代ミコによる、『ルカルカ★ナイトフィーバー2015』。「♪嫌なこと何もかも全部忘れて」の歌詞を体現する全力アクト、バンドセットによるパワフルなサウンド、4人の個性豊かな「声」という武器が見事に調和する最上級のスタートとなります。

そのまま『Cantare!』、『キラメクスプリングル』とノンストップに楽曲が披露され、バトンを受け取ったのは、龍ヶ崎リン、小森めと。龍ヶ崎リンのクールボイスを活かしたラップ、小森めとのキュートな“お願い”パフォーマンスで『ニートイトミート』が披露されると、「まさかの土下座ポーズw」とオーディエンスに笑い一体感が生まれました。



この一体感を繋ぐステージ上には、因幡はねる、宗谷いちか、周防パトラ、堰代ミコ、龍ヶ崎リン、小森めとの6人が集結。披露されたのはキュート過ぎる周防パトラのオリジナルソング『ぶいちゅっぱの歌』。歌詞に合わせた柔らかな6人の歌声がエレクトロニカサウンドと調和し、心地よい風で会場を包みます。

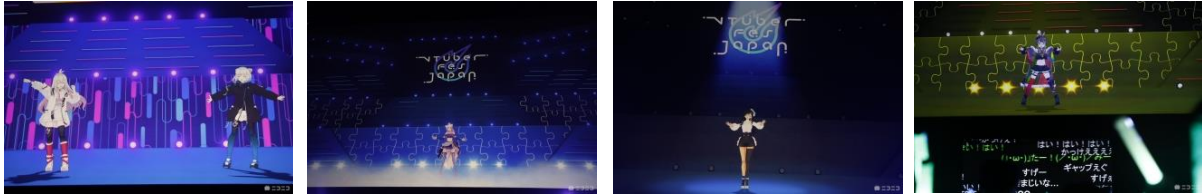
この空気感をトークでお笑いムードに変えたのは、かしこまり、おめがシスターズ（おめがレイ・おめがリオ）。「3人合わせて…、かしこ？かしこ？かしこシスターズ！」と少々ガダガダなユニット爆誕で会場を沸かせますが…、『シュガーソングとビターステップ』の歌唱では見事クールにキメると言うギャップ萌えでさらに沸かせます。これに続いたのが獅子神レオナ。安定感バツグンの歌唱で『頑張れ頑張れ超頑張れ』を歌い上げると、画面は「頑張れ」の弾幕で覆われました。



天仙子兎音が『今回の騒動につきまして』をハードな歌唱とロックな世界観で表現。VESPERBELL（ヨミ・カスカ）は、"ガチ歌系"バーチャルガールズデュオらしい歌声のハーモニーで難易度の高い『RISE』を届けます。この流れに圧倒されるオーディエンスは、しばしの間言葉を忘れ聞き入ってしまうほど。前半のラストを飾ったのは、朝ノ瑠璃、VESPERBELL、おめがシスターズ、天仙子兎音、獅子神レオナ、MaiRという豪華すぎるメンバー。『虹色のフリーゲル』の力強いサウンド、そこに重なる全員のファルセットという心地よさで、オーディエンスを異世界へ誘いました。

この日初のMCパートには、一翔剣、夏色まつりが“ぎこちないスキップ”で登場。既に15人のVTuberが登場となっていることや、前半ハイライトの振り返りで会場を盛り上げます。“かしこシスターズ”のお笑いトークから歌上手すぎという流れには、「さーせんw」のコメントが飛び交っていたことが語られると、会場・コメントともに爆笑が広がりました。

■ご当地VTuberに夏色まつり、ミライアカリも登場のDay1中盤戦！



中盤戦は、マルチリンガル・バーチャルユニットTacitly（リリア・シエル）のアクトよりスタート。透き通るほどに美しい歌声で『Wake Me Up -3言語ver-』を披露。続くのは、奏みみ。持ち味でもあるR&Bの世界観で『Hello-Hello』を届けます。17歳の高校生・アイドルVTuberながらも、しっとりとした空気を会場にもたらしたのは花鉄キョウ。透明感のある歌声、メリハリを感じさせる歌唱で『蒼に躊躇う』を響かせました。会場のテンションをキュートに変えたのは、たみー。『だっこしてぎゅっ!』で愛くるしい歌声とパフォーマンスを披露。かと思えば…、『キミノゾラ哨戒班』では別人のような声色の使い分けでクールな世界観を表現。ギャップで驚きを生みます。



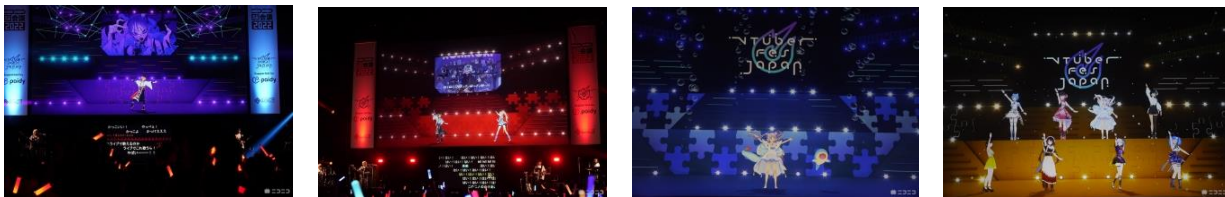
お次はご当地公認VTuberトリオ。茨城県公式VTuber・茨ひよりは「干し芋」、千葉県松戸市ご当地VTuber・戸定梨香は「甘〜い梨」、埼玉県のご当地ちっくVTuber・春日部つくしは「美味しい狭山茶」とご当地の名産をPRし、『ファンサ』を王道アイドルパフォーマンスで魅せました。コミカル&キュートな世界観で『ほめのび』を披露したのは、夏色まつり。幅広い表現力に定評のある夏色まつりのアクトが届けられると、画面は「えらい！」の弹幕で覆われることに。レジェンドVTuber、ミライアカリのパフォーマンスは『雨恋い』。ステージ映像とシンクロする動きと歌声、そしてウインクでの締めくり。圧巻のステージにオーディエンスは素敵な恋の魔法にかけられてしまいました。

この日2回目のMCパート。ステージアクトのあった夏色まつりに、一翔剣が「なんであの選曲？」と問いかけると…、「だって、褒められたいじゃないですか！」との回答が。コメントには「えらい！」と「www」「草」（笑い）が交互に並びました。

■96猫×ミライアカリのコラボに「これは伝説」Day1ラストパート！



いよいよDay1も後半戦。中毒性の高い歌唱で『地獄屋八丁荒らし』を披露する戌亥とこ。その姿には「やだカッコイイ！」「どんどん好きになる」「セクシーな歌声」との声が飛び交いました。「はじめましての方にもかわいイと思ってもらえるように！」と星川サラが選曲したのは、『ワールドイズマイン』。その狙い通りに画面には「かわいい！」「かわいいよ！！」の弹幕が。このキュートな流れに続いたのは、ヒツキミウ、ミツルギリアの獣耳コンビ。息の合った歌とダンスで『チューリングラブ』を披露。



ハードな歌の世界へと空気を一転させたのは、96猫。シャウト、ファルセット、こぶしと目まぐるしく展開される難易度の高い楽曲『ポッカデラベリタ』を完璧に歌いこなすというパフォーマンスで会場を沸かせました。さらに96猫×ミライアリのコラボで人気定番曲『ロキ』が届けられると、オーディエンスのテンションもプチ上がり！「これは伝説」「レジェンド2人」「掛け合い最高！」「これは優勝」とコメントも沸きます。瑞々しい世界へと誘ってくれたのは、エルセとさめのぼき。デュエットでの『星詠みの唄』がオーディエンスの心を揺さぶります。

そして、ステージ上にはMaiR、朝ノ瑠璃、AZKi、戌亥とこ、エルセ、かしこまり、宗谷いちか、花鋏キョウの8人が登場。贅沢な8人の歌声で届けられるメッセージ性の高い『Snow halation』。それは触れるものにとって、特別な時間となりました。



ここからははいよラストスパート。ときのそらがハリのある歌声とキレッキレダンスの『Equation of love』でオーディエンスのテンションをさらにプチ上げると、夏色まつり、AZKiがときのそらと合流。そして、『hololive IDOL PROJECT』ではお馴染みの楽曲、『Shiny Smily Story』が熱量たっぷりに届けられます。その余韻は歌詞の通り「終わらない世界」へと繋がっていきました。

最後のMCパートで夏色まつりがオーディエンスの代わりにアンコールを行うと、ラスト曲に選ばれたのは、『ピース！！』。個別の歌割りに一人一人の個性が光る出演者全員によるパフォーマンス。圧倒的な一体感のまま「VTuber Fes Japan 2022」Day1は幕を閉じました。

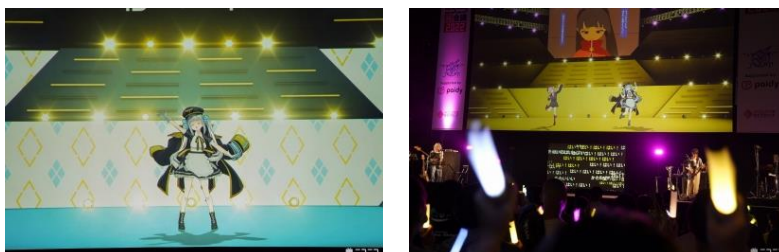
■Day2は#コンパス×不知火フレアのコラボ、ハイトーンボイス×ハイテンションでスタート！



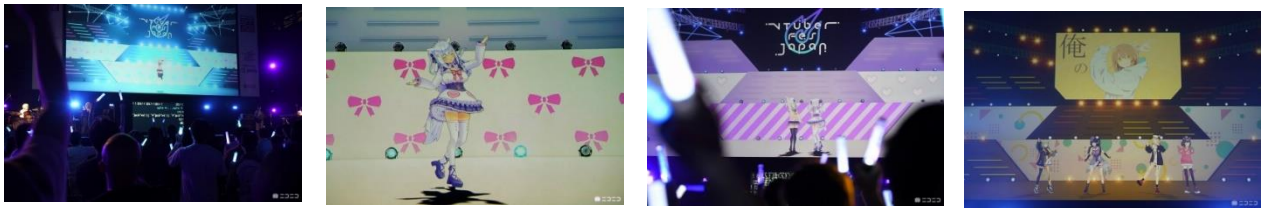
「VTuber Fes Japan 2022」Day2。前日の“一体感”というバトンを受け取ったのは、不知火フレア、Voidoll、双挽乃保。不知火フレアのハイトーンボイスで『ダンスロボットダンス』が披露され、「初手からこれは上がるわ」「声たっか！」「高音すぎすぎん？」とオーディエンスのテンションもひと際高いものに！

人気スマホ向け対戦バトルゲーム「#コンパス【戦闘摂理解析システム】」から参加となったVoidoll、双挽乃保。ゲーム内のヒーローたちが歌って踊るリズムゲーム『#コンパス ライブアリーナ』のリリースが控えていることを発表します。さらに…、そんなリリース間近の『#コンパス ライブアリーナ』に「不知火フレアも参加決定」という発表がなされ、大いに沸きます。この流れのままに不知火フレアのオリジナル曲『Smile & Go!!』を披露。1曲目2曲目とは思えない盛り上がりでDay2はロケットスタートを決めました。

ステージの空気感を可愛く変えたのは、イラストレーターVTuberしぐれうい。王道アイドルパフォーマンスで『スイートマジック』披露すると、「かわいすぎ」「絵師のハードルあげないで」といったコメントも。



キュートな流れに続いたのは、神楽めあ。『Ubiquitous dB』の歌唱で沸かせます。そのまま神楽めあ×しぐれういコラボが実現です。神楽めあが、「ういママで～す！」とステージ上から呼び込みを行うと、「ママではない！」と切り返ししながら登壇するしぐれうい。このツッコミには大きな笑いが広がることに。そんな2人のコラボ曲となったのは、『トンデモワンダース』。息の合ったアイドルコンビを思わせるパフォーマンスでオーディエンスを圧倒しました。



透明感のある歌唱で『ぼくのしーくれっと』を魅せる、犬山たまき。清楚な歌声で『ミックスシロップ』を披露する、白雪みしろ。それぞれの歌唱後、2人は合流。ユニット「Mercies」として『キメキノーツ♪』を歌い上げ、癒しの世界を広げました。Day2前半を締めくくったのは、HAC HI、KMNZ（LITA・LIZ）、富士葵のスペシャルコラボ。『グッバイ宣言』をクール&セクシーに表現し、オーディエンスのハートを鷲掴みに。盛り上がりのパトンを中盤戦へと託しました。

■エモくてアンニュイな雨曲リレーに「一回聴いたらもう好き」Day2中盤戦

この日最初のMCパートには、一翔剣と電脳少女シロが登場。電脳少女シロが自己紹介で「一翔シロで～す！」とボケると、一翔剣に「いつの間に籍入れたんですか！」とツッコまれ笑いが広がりました。2人はここまでの約1時間で既に10人以上のVTuberが登壇となっていること、前半ハイライトの振り返り、物販のお知らせなどで盛り上げます。



『TEMPLATE』でDay2中盤戦をスタートさせたのは、歌唱力に定評のある星街すいせい。ソウルフルな歌唱には「歌唱力おぼけ」「聞き惚れてしまう」とのコメントが飛ぶほどでした。独特かつ絶妙なアンニュイ世界で『雨のせい』を披露したのは、ココロヤミ。同じく雨曲『Rainy p roof』で、しっとり心地よくリレーを紡ぐHACHI。2人のエモい“雨曲リレー”には「昨日だったら本当に雨だったのに」「現地で聴きたかった」「一回聴いたらもう好き」とのコメントも。



KMNZがこの流れをガラリと変えます。LITAのハードなRAP、LIZの染み入る歌唱で、極上の『SKOOL』を披露。続く富士葵は、2人のダンサーを従え『クリティカル・シンキング』を熱く歌い上げます。その力強くも儂い独自の世界観には、オーディエンスも一気に惹き込まれて行きました。

元気&キュートな『ねねねねねねね!大爆走』歌唱で会場全体を“ねねワールド”に変えたのは、桃鈴ねね。そして中盤戦ラストには、雪花ラミィ、桃鈴ねね、獅白ぼたん、尾丸ポルカという豪華な顔ぶれが。個性豊かな歌声の重なる『BLUE CLAPPER』で後半戦へと繋がるオーディエンスのギアを一段加速させました。

■花譜×星街すいせいにゴールドシップ(ウマ娘プリティーダービー)！？とホロライブの豪華メンバーコラボで最後まで攻めのVTuber Fes 2022



2日間にわたる「VTuber Fes Japan 2022」も、いよいよDay2後半戦。登壇となったのは、6人組のバーチャルガールズグループVALI S。『残響ヴァンデラー』を切れ味鋭いフォーメーションダンス、セクシーな歌唱で魅せ、ラストパートを一気に加速させます。

『過去を喰らう』、『海に化ける』のメドレーで別人のような声色の使い分けを魅せたのは、歌姫VTuber花譜。そのまま花譜はステージ上に残り、合流となったのは…、星街すいせい！夢のコラボが実現します。花譜×星街すいせいの『小夜子』が披露されると、声質バッチリの最強歌姫コラボに、「このコラボまじか！」「Vの歌姫夢のコラボだ！」「このコラボ考えたスタッフすげーな」とオーディエンスのテンションもさらにヒートアップ。



続いて花譜と合流したのは、理芽、春猿火、♀世界情緒、幸祐。5人の電腦の魔女達が織りなすユニットV.W.Pとして『共鳴』を圧倒的クオリティで披露しました。VTuber界の広さと深さを感じさせたのは、エーテル・クレスエンティア。ミュージカルスターを目指す1万8000歳の魔族という肩書は伊達ではなく、他の追随を許さない声楽的アプローチで『Prayer』を歌い上げます。バイオリンと融合するその歌声には「Vフェスに出る子はやっぱり別格だな」「声楽がチ勢やん」「踊りながらこんな声出るんか」と感嘆のコメントが漏れるほどでした。



シンクロ率の高いダンスとパワフルな歌唱で『フリコドウル』を表現したのは、歌姫コンビHIMEHINA。続けざまに、「みんなに会えない日々の中で、生まれた曲です。聞いてください」とコロナ禍に染み入る、メッセージ性の強い『こだましがみ』を披露。HIMEHINAからのメッセージを受け取った視聴者からは、「さすがに涙でるわ」「エモすぎ」「声魂はここに在る・・・」と涙腺崩壊コメントが。「最後にあと3分だけください！」と開始されたのは『3分ガール』。計3曲とは思えないほどの大きな満足感を残す「HIMEHINA劇場」となりました。そして、天音かなたのキューートな『特者生存ワンダラー!!』へと続き、いよいよDay2もラスト曲を残すのみとなります。



「VTuber Fes Japan 2022」Day2ラスト曲に選ばれたのは…、まさかの「ウマ娘プリティーダービー」主題歌『うまびよい伝説』！歌唱にも「ウマ娘プリティーダービー」よりゴールドシップが参加となり、天音かなた、雪花ラミィ、獅白ぼたん、尾丸ポルカとのコラボを果たします。この嬉し過ぎる想定外コラボ、「あかんあかんw興奮がヤバイw」「ゴルシちゃんきちゃああああ！！」「クッソ盛り上がるなあ」とオーディエンスは異次元の盛り上がりを見せることになりました。

この流れで寄せられるのは、もちろん「アンコール」。熱いコメントと拍手に応える形で届けられたのは…、やはりこの曲！VTuber Fes Japan 公式テーマソング『ピース!!』。この日の参加者全員でのパフォーマンスに、惜しめない拍手と「88888888」弾幕が途切れることなく続いていきます。

「ここに集って つなごう！ ぼくたちのピースを。」

キャッチフレーズの通りに、触れたオーディエンス一人一人が、日々の生活で失ってしまったピース（欠けら）を取り戻し、一体感という繋がりを持てた「VTuber Fes Japan 2022」。大きな充実感、繋がりが生まれた絆。これらはピース（平和）という芳醇な余韻となり、今も胸の奥底で熱く確かなビートを刻み続けています――。

■ ネットチケット販売中

【通常チケット】

- ・ 価格：DAY1/DAY2 7,000円(税込)
2日間通し 13,000円(税込)
- ・ 販売期間：DAY1 3月19日(土)10:00～5月28日(土)23:59 タイムシフト視聴可
DAY2 3月19日(土)10:00～5月29日(日)23:59 タイムシフト視聴可
- ・ 販売URL：<https://dwango-ticket.jp/>

【プレミアムネットチケット】

- ※2日間通し+グッズ付き
- ・ 価格：20,000円(税込)
- ・ 販売期間：3月19日(土)10:00～5月28日(土)23:59 タイムシフト視聴可
- ・ 販売URL：<https://jpstore.dwango.jp/>

【タイムシフト視聴期間】

- DAY1: 2022年5月29日(日)23時59分まで
- DAY2: 2022年5月30日(月)23時59分まで
- ※期間中、回数無制限にて視聴可

「VTuber Fes Japan 2022 Supported by Paidy」開催概要

■ イベント名：VTuber Fes Japan 2022 Supported by Paidy

■ 主催：株式会社ドワンゴ

■ 冠協賛：株式会社Paidy

■ 協賛：#コンパス

■ 会場：幕張メッセ特設ステージ

■ 開催時期：2022年4月29日(金)・4月30日(土)

■ 公式サイト：<https://vtuberfesjapan.jp/>

■ 公式Twitter：https://twitter.com/vtuberfes_jp

■ 視聴URL

【DAY 1】

VTuber Fes Japan 2022 DAY1【4/29】Supported by Paidy@ニコニコ超会議2022
2022年4月29日(金) 開演 14:30
視聴URL：<https://live.nicovideo.jp/watch/lv336038713>

【DAY 2】

VTuber Fes Japan 2022 DAY2【4/30】Supported by Paidy@ニコニコ超会議2022
2022年4月30日(土) 開演：14:00

視聴URL：<https://live.nicovideo.jp/watch/lv336038799>



冠協賛：株式会社Paidy

「ニコニコ超会議2022 Supported by NTT」開催概要

- 【日時】2022年4月23日(土)～30日(土)
 - ↳ ネット：4月23日(土)～30日(土)
 - ↳ リアル：4月29日(金)10時～18時
4月30日(土)10時～17時



Supported by NTT

【主催】ニコニコ超会議実行委員会

【会場】リアル開催：幕張メッセ / ネット開催：ニコニコ公式サイト・総合TOP (<https://www.nicovideo.jp/>)

【ニコニコ超会議 公式サイト】<https://chokaigi.jp/>

【twitter公式アカウント】https://twitter.com/chokaigi_PR

【テーマソング】「しろくろましろ」 作詩・作曲：松岡充 / 歌：「シロクマ」小林幸子×松岡充

■ 協賛・出展一覧

【超特別協賛】NTT

【特別協賛】#コンパス

【協賛】JRA 日本中央競馬会、スマートニュース、LINE NFT

【超声優祭2022協賛】ディズニープラス

【The VOCALOID Collection ～2022 Spring～協賛】東武トップツアーズ株式会社、白夜極光

【VTuber Fes Japan 2022協賛】株式会社Paidy、#コンパス ライブアリーナ

- 【カテゴリー協賛】 アンリミテッドパフォーマンスエナジー ZONE、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、
 サッポロビール株式会社 濃いめのレモンサワー、ナッシュ株式会社、
 一般社団法人 日本ネットクリエイター協会（JNCA）、プリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社、
 マンガートビームスBEAMS / 株式会社ビームス、三井化学株式会社
- 【特別出展】 株式会社KADOKAWA、アサヒグループ食品株式会社、沖縄県うるま市、グルメギャラリー、株式会社finger
- 【出展】 淡路島洲本市、茨城県、岩手県、うるマルシェ、きゃらON！、株式会社崎陽軒、株式会社K's Factory、
 ココロパーク株式会社、コスパ、コンペイトウ王国、サンレイ・フーズ、C'BON、芝浦工業大学、株式会社将泰庵、
 株式会社THINKR、JIN+、精華町、たんや十兵衛、DEZAEGG.COM、天童市、株式会社東京マルイ、
 株式会社ドミノ・ピザジャパン、株式会社TORASATSU、株式会社ドリームファクトリー、肉の万世、
 ネスレ日本株式会社、ネットの大学 managara、HowLing、羽田プロジェクト、PikattoAnime/ピカットアニメ、
 フェアリーテイル株式会社、ふもっふのおみせ、美作大学、山口県周南市、雪ミクスカイトウン、
 立命館アジア太平洋大学、和真Palette
 NHK受信料を支払わない国民を守る党、社会民主党